

第二回 APT サイバーセキュリティフォーラムに出席して

半田 真
(第三技術部長)

アジア・太平洋電気通信共同体 (APT) の第二回サイバーセキュリティフォーラムが総務省の招致により平成 23 年 12 月 5 日 (月) から 7 日 (水) までの 3 日間、東京で開催されました。本フォーラムで発表されたサイバーセキュリティを向上させるための取り組みや標準化活動、『新しいタイプの攻撃』やスマートフォンへの脅威などを紹介します。



各国での取り組みについては JPCERT の活動や最近日本の支援で設立された大洋州諸国を管轄する PAC-CERT の紹介、さらに APCERT や IMPACT を通じた多国間の協力体制などが紹介されました。なかでも日本の JPCERT、TELECOM-ISAC、IPA の合同した取組であるサイバーセキュリティセンタープロジェクトにより日本においてボットの感染を大幅に減少できた、との発表は印象深いものでした。

またサイバーセキュリティを確保するためにはユーザーのリテラシー向上が必要である、という観点から各国におけるセキュリティ知識の啓蒙の取り組み等も紹介されました。最近増えているソーシャルネットワークの利用に関わる問題点やアンドロイド OS の脆弱性を利用した攻撃、アプリケーションインストールの際の権限付与に関わる留意事項、さらに複数の攻撃手法を組み合わせる特定の組織を執拗に攻撃する『新しいタイプの攻撃』(Advanced Pervasive Threat) のケーススタディ、対策についての発表も数多くあり、タイムリーで有用な情報交換がなされました。



今回のフォーラムではセキュリティ対策の専門家が一堂に会してアジア・太平洋電気通信共同体の地域における戦略目標の一つであるサイバーセキュリティの向上、サイバー犯罪への対抗に向けて極めて有効な会合でした。